

日本ブラームス協会 (JBS since 1973) No.160 ヤマハ銀座店共催例会 230621
《2023 / JBS 創立 50 周年記念例会 / JB 生誕 190 年》
2023 is the 50th anniversary of JBS foundation. The 190th birth anniversary of Brahms.

『ブラームス / ピアノ四重奏曲 2 番』再評価

Revaluation of Brahms Piano Quartet No.2 in A major Op.26

●記念講演	／	ブラームスのピアノ曲とピアノ四重奏曲	西原 稔	20	2:00-2:20
●ブラームス	／	サラバンド1番	イ短調 Wo05-1	Sarabande No. 1 in A minor	
Brahms	／	ガヴォット1番	イ短調 Wo03-1	Gavotte No.1 in A minor	
	／	インテルメッツォ	イ長調 Op. 118-2	Intermezzo in A major	
	／	インテルメッツォ	イ長調 Op. 116-2	Intermezzo in A major	
	／	カプリッチョ	ロ短調 Op. 76-2	Capriccio in B minor	
	／	インテルメッツォ	イ短調 Op. 76-7	Intermezzo in A minor	
	／	カプリッチョ	ハ長調 Op. 76-8	Capriccio in C major	30 2:20-2:50
		インタビュー	Interview	5	2:55-3:00
		P.山西 遼 Ryo Yamanishi			
		休憩		20	3:00-3:20
●プレトーク	／	ブラームスのピアノ四重奏曲 2 番	西原 稔	10	3:25-3:35
●ブラームス	／	ピアノ四重奏曲 第2番	イ長調 Op. 26	50	3:40-4:30
Brahms	／	Piano Quartet No.2 in A major Op.26			
		インタビュー	Interview	15	4:35-4:50

Vn. 北田千尋 Va. 大山平一郎 (特別ゲスト) Vc. 笹沼 樹 P. 山西 遼
Chihiro Kitada Heiichiro Ohyama (special guest) Tatsuki Sasanuma Ryo Yamanishi
企画・解説 西原 稔 (JBS 顧問 桐朋学園大学名誉教授)
Planning and Commentary Minoru Nishihara (Board member, Adviser of JBS)



Vn 北田千尋



Va 大山平一郎



Vc 笹沼 樹



P. 山西 遼



西原 稔

日時 **2023年9月3日 (日) 2pm**

会場 **ヤマハ銀座店 6F サロン** Yamaha Ginza Store 入場 70名 / 定員 94 席

チケット 一般 ¥5500 (残席を販売) 会員優先 ¥5000 学生会員 ¥3000

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会
共催 (株) ヤマハミュージックリテイリング銀座店
お願い 新型コロナ感染対策に引き続きご協力願います。
お問合せ 日本ブラームス協会 (事務局) tel/fax 050-3648-0002
予約受付 一般券 (残席のご購入予約) 7/3 より e メール受付
eメール [jbs1973\(a\)jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973(a)jcom.home.ne.jp)

ホームページ <http://japan-brahms-society.org/>



2021/7/11 No. 155 ピアノ四重奏曲

●ヴァイオリン 北田 千尋 (きただ ちひろ)

広島市出身。第7回仙台国際音楽コンクール第4位。第1回ブラチスラヴァ舞台芸術アカデミー国際音楽コンクール第2位。第65回全日本学生音楽コンクール中学生の部全国大会第1位。いしかわミュージックアカデミーIMA 奨励賞、ミュージックアカデミーin みやざき優秀賞、霧島国際音楽祭受賞。東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭等に出演。これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア放送交響楽団等と共演。カルテット・アマービレのメンバーとしても活動し、第65回ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門3位、特別賞。2019年ニューヨークで行われたヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション第1位。桐朋学園大学音楽学部を卒業、同大学院修士課程修了。これまでに川本義幸、小室瑛子、村上直子、篠崎功子の各氏に師事。現在、ブリュッセル王立音楽院にて堀米ゆず子氏に師事。ブラームス協会では2017年Vc. 笹沼樹氏、P. 岩崎淑氏とメンデルスゾーンのピアノトリオ1番を共演。

●ヴィオラ 大山 平一郎 (おおやま へいいちろう)

京都生まれ。東儀祐二教授にヴァイオリンを師事。後に桐朋学園で、江藤俊哉、鷲見三郎、斎藤秀雄各教授に師事。1968年、英国に渡り、ニーマン、プリース、ダート各教授に学びギルドホール音楽学校を卒業。1970年には米国インディアナ大学でプリムローズ、リッチ、ギンゴールド、シュタルケル、プレスラー各教授に師事。インディアナ大学コンクールではヴァイオリン、ヴィオラ両部門で同時優勝を果たした。1972年マルボロ音楽祭にヴィオリストとして参加後、数多くの国際音楽祭に招待され、またギドン・クレーメル、ラドゥ・ルプー、アイザック・スターンなど著名な音楽家とも共演する。1973年、カリフォルニア大学助教授に就任、翌年ニューヨーク国際ヤング・コンサート・アーティスト賞を受賞。1979年にカルロ・マリア・ジュリーニの率いるロサンジェルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始める。1986年ラホイヤ室内楽音楽祭の芸術監督に就任。同年、ロサンジェルス・フィルハーモニックを指揮、翌年アンドレ・プレヴィンに、同楽団の副指揮者に任命され、定期コンサート、ハリウッドボール、青少年ロサンジェルス交響楽団夏季トレーニング・オーケストラを指揮する。

●チェロ 笹沼 樹 (ささぬま たつき)

2022年第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第22回ホテルオークラ音楽賞を受賞。ARD ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門、ニューヨークのYoung Concert Artist International Audition、東京音楽コンクール、日本音楽コンクールなどに優勝・入賞を果たしている。ソリストとしては新日本フィルハーモニー交響楽団、プラハ国民劇場オーケストラ、東京交響楽団をはじめとするオーケストラと共演。室内楽奏者としてはアルゲリッチ、ダン・タイ・ソン、ヴェンゲーロフ、ギトリス、マイルスキーをはじめとした音楽家と国内外で共演を重ねる。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業後、同大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部卒業。同校でのリサイタルシリーズは2017年に天皇皇后両陛下をお迎えする天覧公演となった。2019年デビューCD『親愛の言葉』(コロピアレコード/レコード芸術特選盤)をリリース。ソリストの他、カルテット・アマービレ、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバーとしても活躍している。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi(宗次コレクション)。ブラームス協会では2014年弦楽四重奏曲3番、2015年シューベルトのピアノトリオ2番とブラームスのチェロソナタ2番、2017年にはVn.北田千尋氏、P.岩崎淑氏とメンデルスゾーンのピアノトリオを共演。

●ピアノ 山西 遼 (やまにし りょう)

2019年第6回ポーデン湖国際音楽コンクール第1位。2019年第3回リヴォルノ国際ピアノコンクール第2位。併せて1900年以降の作品の優れた演奏に対して贈られる特別賞、2019年第8回アルトゥール・レブティン・ピアノコンクール第2位、2019年第7回ヨーロッパ室内楽コンクール・カールスルーエ第2位など数々のコンクールに入賞。ドイツでのソロリサイタルをはじめ、日本ではカワイ表参道パウゼ、和光大学ホプリホール鶴川、真駒内六花亭ホール、調布飯野病院マルシャリンホール、サロンプレイエルにてソロリサイタルを開催した。ソリストとして南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、プフオルツハイム南西ドイツ室内管弦楽団、モーツァルト・シンフォニー・オーケストラと共演。これまでにピアノを北川倫代、高橋多佳子、下田幸二、野島稔、ギレアド・ミシヨリの各氏に、ソルフェージュを大田桜子氏に、楽曲分析・演奏解釈を加藤伊津子氏に、室内楽を北本秀樹、藤井一興、鈴木康浩、ログリット・イシャイ、シルヴァー・アルテンブルガーの各氏に師事。Helene-Rosenberg 財団、ユードー・メニューイン財団「Live Music Now Freiburg e.V.」Dr.-Leo-Ricker 財団、Fondation Clavarte 財団より奨学金を受ける。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。その後フライブルク音楽大学大学院修士課程を最優秀の成績で修了し、さらに同大学にて国家演奏家資格を最優秀の成績で取得。現在はドイツを拠点にソロ、アンサンブル活動の他、フライブルク音楽大学弦楽器クラスのコレペテトウアー専任講師として指導にあたる。ブラームス協会では2015年Vc.笹沼氏とチェロソナタ2番、2016年Vn.小川恭子氏とヴァイオリンソナタ3番を共演。

●解説 西原 稔 (にしはら みのる) JBS顧問

東京藝術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学名誉教授。同大学特別招聘教授。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。著書に「音楽史ほんとうの話」「作曲家◎人と作品 ブラームス」「新編 音楽家の社会史」「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下巻(第26回ミュージック・ペンクラブ賞受賞)、2020年に「≪ドイツレイクイェム≫への道」(以上 音楽之友社)のほか「新版 クラシックでわかる世界史」「ピアノ大陸ヨーロッパ」「ピアノの誕生」「クラシック 名曲を生んだ恋物語」「楽聖ベートーヴェンの誕生」「世界史でたどる名作オペラ」「ピアノの誕生・増補版」、また共著・共訳書に「ルル」「金色のソナタ」「西洋の音楽と社会⑦ロマン主義と革命の時代」「オックスフォードオペラ大事典」などがある。日本ブラームス協会(JBS)では2002年10月1日より顧問として企画運営のアドバイスをすると共にブラームス研究の成果を「レクチャーコンサート」、会誌『赤いほりねずみ』に発表している。

企画・制作 JBS 日本ブラームス協会(顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、山田)